

区立保育園等における午睡中の事故防止に関する機器の導入について

区立保育園等において、午睡中の見守りを強化し、これまで以上に安全で安心な保育環境を確保するため、体動センサー内蔵マットを導入します。

1 現状と背景

国は、昨今、保育所等において重大事故が繰り返し発生している状況に鑑み、令和5年4月から保育施設に対して安全計画の策定を義務付け、児童の安全確保に向けた取組を計画的に実施するよう求めています。

また、東京都においても、保育施設が行う安全・安心を確保するための取組への支援として、令和5年度末までに限り、送迎バスへの子どもの置き去り防止等の対策に係る経費を補助する「保育所等における送迎バス等安全対策支援事業」が創設されています。

こうした中、区では、今年度、私立認可保育園等に対し、各園の実態に応じた対策の実施を推進するため、午睡中の事故防止等の対策に要する経費の補助など支援を強化しており、区立保育園等においても同様に、安全・安心に係る取組の拡充が必要です。

2 区立保育園等における午睡中の事故防止に係る取組

午睡中の事故防止に当たっては、乳幼児突然死症候群（以下「SIDS」といいます。）の発生防止に取り組むことが重要です。

SIDSは、何の予兆等もなく乳幼児が死に至る原因不明の病気で、令和3年には全国で約80人の乳幼児が死亡しています。

このため、保育園では、保育士が目視などにより午睡中の児童の呼吸や姿勢を確認し、必要に応じて体勢を変えるなどの午睡チェックにより対策をしています。

なかでも、リスクが高いとされる0歳児については、5分に1回の午睡チェックを実施していますが、午睡中の見守りを強化するため、体動センサー内蔵マットを導入します。

(1) 導入機器の概要

布団の下や簡易ベッドに敷いて使用する体動センサーを内蔵したマットです。

児童の呼吸による胸の動きなどの体動を検知し、一定時間体動が検知されない場合にアラームによる警告を発出します。

(2) 導入施設

区 分	施設数
区立保育園・区立認定こども園	23施設
港区保育室	8施設
あっぴい	8施設
みなと保育サポート	5施設
合 計	44施設

(3) 導入枚数

約470枚

※SIDSのリスクが最も高いとされる0歳児クラスの児童に対する使用を基本とします。

3 事業規模

60,134千円

4 今後のスケジュール（予定）

令和5年第3回港区議会定例会

令和5年第4回港区議会定例会

令和6年2月下旬

補正予算案の提出

物品の購入議案の提出

使用開始